

2016年7月21日

燃料電池自動車の普及に向けた水素ステーション用 水素圧縮機の受注

株式会社加地テック(代表取締役社長 中澤 敬 本社 大阪府堺市)はこのほどエネルギー・産業ガス関連各社が整備を進める2016年度燃料電池自動車(FCV)用水素ステーション向けに4件の水素圧縮機を受注しました。

政府の「日本再興戦略2016」改訂版ロードマップでは、水素社会の実現に向け、燃料電池自動車、水素ステーションの導入を加速すべく、商用水素ステーションは2020年度までに全国で160か所程度、2025年度までに320か所程度を整備するとされています。

このような中、2013年から2015年までの当社の納入実績をご評価いただき、今年度もすでに4ヶ所の水素ステーション向けに当社のノンリーク型オイルフリー圧縮機【 **HyKom340** 】の受注に至ったものであり、更なる受注に向けて鋭意営業活動中です。

また当社の水素圧縮機は、今年度、燃料電池フォークリフト(FCフォークリフト)の実用化に向けた実証事業においても、FCフォークリフトの水素充填用に採用されております。

当社は水素圧縮機のトップメーカーとして、水素社会の実現に向けて、さらなる性能向上、コンパクト化と経済性を目指して、製品の開発・改良に取り組んでまいります。



HyKom340

(仕様)

吸入圧力 0.6MPa

吐出圧力 82MPa

吐出流量 100~340Nm³/hr